

女性特有のがん検診に無料券

県内36市町村が実施

県は21日、県議会環
境厚生常任委員会で、
本年度、女性特有の子
宮頸(けい)がん、乳
がんの検診受診者に無
料クーポンを交付する
国の事業に申請する県
内自治体は36市町村と
なることを明らかにし
た。残る蓬田、東通、
鶴田、野辺地の4町村
は、独自の健診事業の
実施などを見送りの理
由に挙げている。

事業は従来、低迷し
ていた女性特有のがん
受診率向上へ2009
年度にスタート。子宮
頸がんは20歳から40歳
まで、乳がんは40歳か
ら60歳まで、ともに

5歳ごとに実施。事業
費は全額国庫負担だっ
たが、本年度は2分の
1が各市町村の負担と
なった。
県によると事業を実
施しない4町村のうち
蓬田、東通の2村は対
象年齢にかかわらず検
診を既に無料化してい
るためと回答。鶴田

町は本年度から他のが
んも含めた精密検査の
受診者を対象とする助
成事業を実施するた
め、野辺地町は「予算
上の問題」を理由に挙
げたという。
鶴田町民生生活課の
神美幸保健師は「精密
検査に力を入れた方
が、がん死亡率の改善

に寄与すると考えた」、
野辺地町健康増進セン
ターの濱中理智子所長
は「09年度は両検診と
も全対象者に対する受
診率が低く、無料クー
ポンや検診手帳を発行
する手間、経費を考え
れば別の事業に使った
方がいいのでは」など
と取材に答えた。